

こども未来 アクション 2025

東京都
令和7(2025)年1月



表紙には「東京都こども基本条例ポスターコンクール」最優秀賞 2 作品、デジタル特別賞 1 作品を掲載しています。（P.30、P.51）



チルドレンファーストの東京の実現に向けて 具体的なアクションを実践

子供は大いなる可能性を秘めた、かけがえのない存在です。
未来の主役である子供がのびのびと成長し、自らが持つ力を育める
環境を整えることは、今を生きる私たちの責務です。

一方で、一貫して増加を続ける不登校の児童・生徒をはじめ、いじめの
認知件数の増加、深刻化する児童虐待など、子供を取り巻く環境は、
一層厳しさを増しています。

困難を抱えた子供一人ひとりに寄り添い、全ての子供が持つ無限の可
能性を引き出し、全力で応援していくため、具体的なアクションに果断
に踏み出していかなければなりません。様々な子供の声や思いに真摯
に耳を傾け、「大人の事情」ではなく、「子供の最善の利益」という観点
から、子供政策を不断にバージョンアップし、シームレスに展開してい
くことが何より重要です。

今回、策定した「こども未来アクション2025」には、多様な手法で様々
な環境下にある子供から聴いた生の声を盛り込み、子供政策に反映
するとともに、子供を取り巻く環境や直面する課題等を踏まえ、都庁一
丸となってスピード感を持って実践する子供目線の取組を体系的にま
とめました。

今後も子供政策を固定的に捉えるのではなく、「こども未来アクショ
ン」を基軸として子供との対話を実践し、「いま」と「みらい」を子供と一
緒につくっていくことで、子供の笑顔あふれるチルドレンファーストの
東京への歩みを加速・深化してまいります。



目次

1章 チルドレンファーストの社会の実現に向けて

チルドレンファーストの社会の実現	4
子供の意見やエビデンスに基づく子供政策の推進	5
子供の実態、声や思いを反映した子供政策	6
都庁一丸となった子供の意見を聴く主な取組	40
東京都こどもホームページ・中高生 Web サイト（仮称）	46
東京都こども基本条例の普及啓発	50
こども未来会議	56

2章 全ての子供の笑顔を育む 子供政策の加速と深化に向けて

組織横断で取り組むリーディングプロジェクト	59
乳幼児期の子育て	61
子育てのつながり創出	71
学齢期の子育て	81
学校の居心地向上	91
子供の未来を育む「体験活動」の推進	97
子供の笑顔につながる「遊び」の推進	105
子供を事故から守る環境づくり	117
ヤングケアラーを支える	127
日本語を母語としない子供を支援	137
ユースヘルスケア	147
子供政策強化に向けた重点アクション	153
【政策の柱1】誰一人取り残さない視点から、子供へのサポートを強化	156
【政策の柱2】子育て家庭に寄り添い、子供の育ちを支える環境を充実	168
【政策の柱3】「東京型教育モデル」により、教育の質を向上	180
【政策の柱4】多様な主体と連携し、子供の笑顔を育むアクションを展開	186
区市町村との更なる連携強化	191

1 章

チルドレンファーストの社会の実現に向けて



チルドレンファーストの社会の実現

「未来の東京」戦略（2021年3月）

目指す2040年代の東京の姿 ビジョン

「子供の笑顔と子供を産み育てたい人で溢れ、
家族の絆と社会が支える東京」

「2050東京戦略（案）」（2025年1月）

2050年代のビジョン

「全ての子供の笑顔を育み、
チルドレンファーストの社会へ」

東京都こども基本条例

「子どもの権利条約」の精神にのっとり、子供を権利の主体として尊重し、子供の最善の利益を最優先にするという基本理念を明確化

子供の安全安心、遊び場、居場所、学び、意見表明、参加、権利擁護等、多岐にわたる子供政策の基本的な視点を一元的に規定



安全安心
の確保



遊び場、
居場所づくり



学び、成長
への支援



意見表明
施策への反映



こどもの権利
の広報・啓発



相談への
対応

こども未来アクション

子供目線で捉え直した政策の「現在地」と、子供との対話を通じた「継続的なバージョンアップの指針」



2023年



2024年



2025年

連携

法定計画

東京都子供・若者計画

東京都子供・子育て支援
総合計画

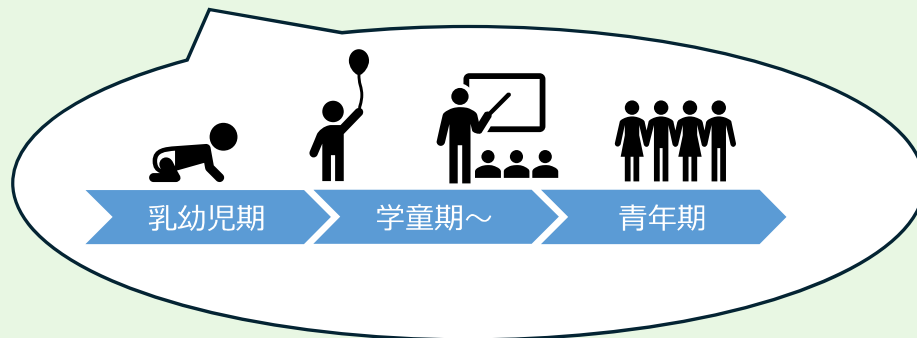
⋮

子供の意見やエビデンスに基づく子供政策の推進

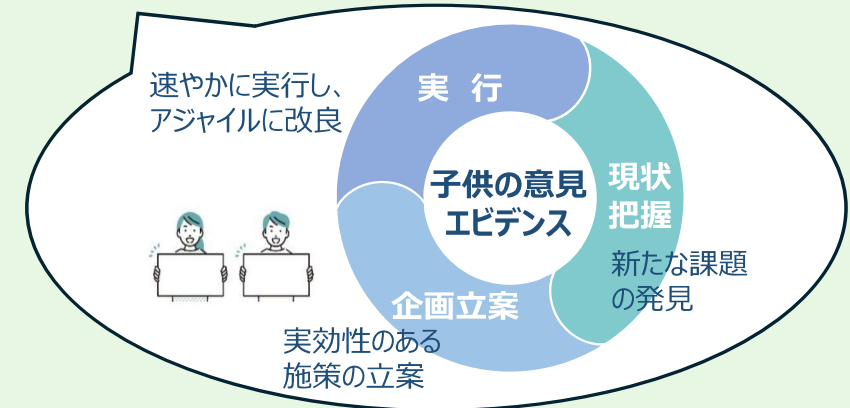


子供政策の基本スタンス

- ◆ 子供を客体でなく主体として捉え、生まれてから幼児期、学童期、青年期など、ステージを通じて一貫してサポートし、誰一人取り残すことなく、全ての子供たちの可能性を大切に育んでいく



- ◆ 子供の意見やエビデンスに基づき、子供の実情や抱える課題を的確に把握し、子供に寄り添った子供のための実効性ある政策を練り上げ、機動的に展開していく

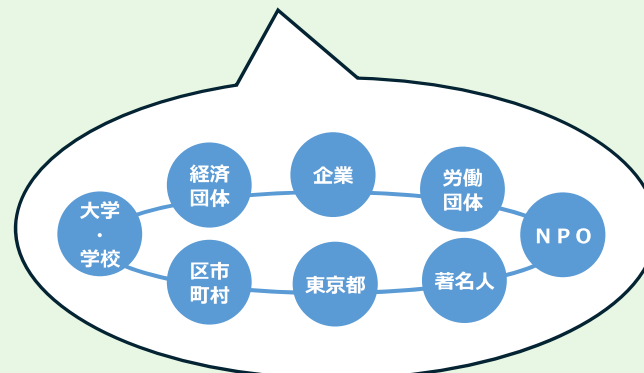


政策展開のアプローチ

- ✓ 都政の政策全般を「子供目線」で捉え直す



- ✓ 多様な主体と協働・連携を深め、社会全体で子供へのサポートを強化していく



- ✓ DXの推進により、新たな時代にふさわしい取組を展開する



子供の実態、声や思いを反映した子供政策

- 子供政策の推進に当たっては、**当事者である子供の意見を聴いていくことが不可欠**です。
- 2024年度においては、**多様な手法により、一人ひとり異なる環境下にある子供の声を引き続き丁寧に聴き取り**ました。
- これに加え、子供の意見を政策に取り入れ、社会参画意識を高めるため、**子供自らが子供政策について議論・提案する取組を新たに実施**するなど、**取組を強化**しました。
- **子供に関する実態や意識の変化を継続的に把握**し、多面的な分析を通じて課題や行政ニーズの深掘りを行いました。

18,000人の 子供の意見

- ◆ 子供の居場所におけるヒアリング
- ◆ 出前授業
- ◆ こどもワークショップ
- ◆ SNSを活用したアンケート
- ◆ こども都庁モニター
- ◆ 中高生 政策決定参画プロジェクト

子供との対話を重層的に実施

子供に関する エビデンス（実態や意識）

- ◆ 子供に関する定点調査
「とうきょう こども アンケート」

子供に関する実態や意識を継続的に把握

子供の実態、声や思いを子供政策に反映

📢 今後のアクション

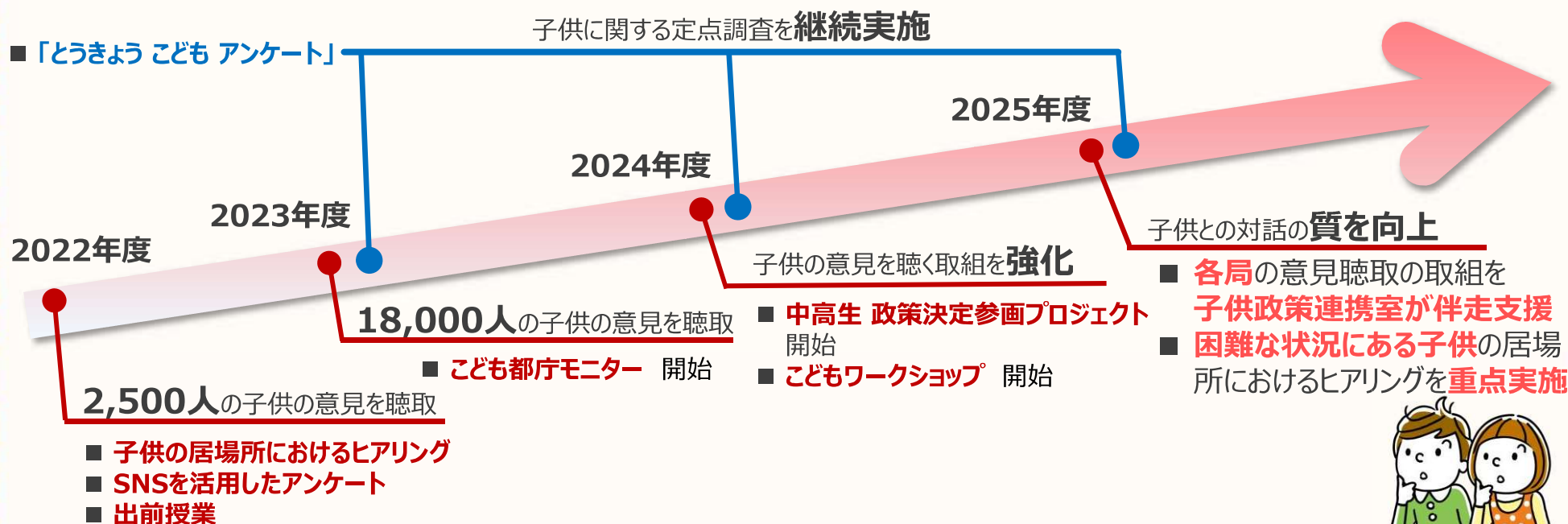
子供の意見聴取の取組を深化させ、子供との対話や実態把握の「質」を向上

- 都庁全体で子供目線に立った政策を充実していくため、各局と連携して子供の意見を聴く取組を推進
- 公募などの手法では声をあげにくい子供の意見を的確に把握することに重点を置いて取組を実施

各局と連携した
意見聴取の取組を推進



声をあげにくい子供の意見
を的確に把握



子供の意見を聴く取組 一覧

子供の意見を聴いて施策に反映する取組

		子供の居場所におけるヒアリング 					出前授業 		こどもワークショップ 		
目 的		様々な環境下にある子供の意見を聴くため、 子供の居場所に足を運び、自由な意見や生の声を聴取					学校という日常的な空間で、 子供の自由な意見を引き出す		各局の子供へのヒアリングを 子供政策連携室が伴走支援		
調査対象	未就学	✓									
	小学低	✓					✓		✓		
	小学高	✓					✓		✓		
	中高生	✓					✓		✓		
手法		直接聴取					直接聴取		直接聴取		
調査数		500人程度					10～100人程度/回		20人程度/回		
実施概要 (2024)		【ヒアリング人数(施設別)】					【実施規模】 小学校・中学校・高校の児童・生徒 計1,000人程度 ※人数は年度末までの見込 【実施時期】 通年（テーマ等により異なる） 【実施テーマ】 「こども未来アクション」 「東京都こどもホームページ」等		【未来の東京】 ・ 政策企画局 ・ 8月25日（日）16人参加 【東京2025世界陸上】 ・ 生活文化スポーツ局 ・ 8月20日（火）18人参加 【多摩都市モラル延伸部のまちづくり】 ・ 都市整備局 ・ 8月23日（金）19人参加		
		児童館	83人	フリースペース	53人	放課後等デイサービス					22人
		ユースセンター	47人	子供劇場	22人	児童養護施設					19人
		プレーパーク	60人	学習支援拠点	22人	日本語教室					27人
		学童クラブ	59人	各種支援団体	27人	計					540人
		子供食堂	67人	フリースクール	32人						
【ヒアリング内容】 悩みの相談、学習環境、遊び場・居場所 等											

子供の意見を聴いて施策に反映する取組

子供のエビデンス（実態や意識） を把握する取組

SNSを活用した アンケート 	こども 都庁モニター 	中高生 政策決定参画 プロジェクト 	子供に関する定点調査 「とうきょう こども アンケート」 	目 的	
時流を捉えた政策テーマについて、中高生の意識や興味・関心を調査	各局の政策/施策に関する考えや意見を調査	子供政策を中高生自らが議論し、知事に対し提案 提案内容は、都の政策に反映	子供に関する実態や意識を継続的に調査し、経年変化を把握	未就学 小学低 小学高 中学生 調査対象	
	✓（0～2歳・3歳以上保護者）		✓（3歳の保護者）		
	✓		✓（小3・保護者）		
	✓		✓（小5・保護者）		
✓	✓	✓	✓（中2・17歳・保護者）	手法	
デジタル（SNS）	デジタル（Web）	議論・提案	郵送法（郵送回収・Web回答併用）	調査数	
5,000人/回 × 3回	1,200人	10人程度	10,500世帯	実施概要 (2024)	
【第1回】 ・ 6月26日～7月2日 ・ 相談、ヤングケアラー 等 【第2回】 ・ 8月6日～8月18日 ・ デジタル、体験活動 【第3回】 ・ 8月6日～8月18日 ・ グローバル化、日常生活	【実施時期】 通年（年6回） 【主なテーマ】 スポーツ、学童クラブ、広報東京都こども版、都立公園の利用、東京の空・大気 等	【参加者】 都内の中高生12人 【活動期間】 6月～10月 （10回＋政策提案） 【議論テーマ】 「将来のためになるリアルな体験活動の充実」	【実施期間】 5月7日～5月31日 【標本抽出法】 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法 【回収率】 42.5% 【主なテーマ】 幸福感、自己肯定感、居場所 等		

子供へのフィードバック

- ヒアリングやアンケート調査で把握した子供の意見について、子供向けに分かりやすい表現でまとめた冊子等を作成し、意見を聴いた子供へフィードバックを実施

フィードバック資料（一例）

子供の居場所におけるヒアリング



ポイント

- 様々な居場所で聴いた「子供の声」と、意見を踏まえた都の取組を「今後のアクション」として掲載
- ヒアリング実施施設を通じて参加した子供たちに配布
- 本冊子はヒアリングにも活用し、掲載した子供の意見や施策への反映状況について、更に意見を聴取

こども都庁モニター



ポイント

- 小学校低学年版、小学校高学年版、中高生版の3種類の報告書を作成
- 成長発達段階に応じた表現や、イラスト等の活用により、子供に親しみやすい内容となるよう工夫

調査結果と今後のアクション

- 2024年度、多様な手法で聴き取った子供の意見やエビデンスを8つのテーマに分類してまとめ、東京都が取り組む主な今後のアクションと共に掲載しています。(P.12～31)

テーマ一覧

	テーマ名	ページ
①	遊び／居場所 (遊び、居場所、学校の居心地)	P.12-16
②	学び (体験活動、学びの環境、キャリア・起業、デジタル教育・体験、グローバル)	P.17-21
③	悩み／相談 (相談方法、相談窓口等の案内)	P.22-23
④	安全・安心 (インターネット上の安全、交通安全、救急)	P.24-25
⑤	まちづくり	P.26
⑥	スポーツ／文化	P.27-28
⑦	広報	P.29-30
⑧	その他	P.31

ページの見方

子供の生の声や
意見を聴いた結果
(調査手法別に掲載)

子供のエビデンス
を示す結果

調査結果と今後のアクション【遊び／居場所】

遊びに関する調査結果

テーマ名

今後のアクション

【場所におけるヒアリング】
「公園があるが、満足いくような遊びができる場所がない(小学生・子供会)」
「プレーパークのような場所が増えてほしい。年上の人と関わり、いっぱい学べる(高校生・プレーパーク)」
「遊園地のようなホッとできる場所で、ここに来れば誰かしら居る(小学生・プレーパーク)」
【出前授業】
・「誰でも楽しく遊べる公園がほしい(小学生)」
・「友達と放課後遊べる所をもっと近所に増やしてほしい(小学生)」
・「遊べる場所が少ない(室内)。男子も女子も楽しく、室内でも外でも遊べる場所がほしいです！(中学生)」
・「遊ぶ場所があると(人と)関わる事が多くなる(中学生)」



子供の意見を反映した遊び場づくりの推進
(子供の遊び場整備事業)
・子供の意見を踏まえた遊び場等を整備する区市町村を支援
・プレーパークやホール遊び場など、子供が遊べる屋外又は屋内施設を整備する事業が補助の対象
・「とうきょうこどもアンケート」の結果を優先的に採択

今後のアクション

子供の意見を反映した遊び場づくりの推進
(子供の遊び場整備事業)
・子供の意見を踏まえた遊び場等を整備する区市町村を支援
・プレーパークやホール遊び場など、子供が遊べる屋外又は屋内施設を整備する事業が補助の対象
・「とうきょうこどもアンケート」の結果を優先的に採択

- ※ 子供の居場所におけるヒアリングや出前授業等での子供の意見は、実際の発言や原文を基に記載しています。
- ※ 「とうきょうこどもアンケート」結果は小数点以下第2位を四捨五入しており、合計が100%にならないことがあります。

調査結果については、
子供政策連携室のホームページで公開しています。



調査結果と今後のアクション【遊び/居場所】

遊びに関する調査結果

子供の意見

【子供の居場所におけるヒアリング】

- 遊ぶ場所はあるが、**満足のいくような遊びができるところがない**（小学生@子供食堂）
- プレーパークのような場所が増えてほしい**。年上の人と関わり、いっぱい学べる（高校生@プレーパーク）
- 避難所のような**ホッとする場所**で、ここに来れば**誰かしら居る**（小学生@プレーパーク）

【出前授業】

- 誰でも楽しく遊べる公園**がほしい（小学生）
- 友達と**放課後遊べる所をもっと近所に増やして**ほしい（小学生）
- 遊べるところが少ない（室内）。男子も女子も楽しく、**室内でも外でも遊べる場所**がほしいです！（中学生）
- 遊ぶ場所があると（人）**関わるが多くなる**（中学生）

【とうきょう こども アンケート】

Q. 週に何日くらい遊んだり体を動かしたりする日がありますか？



子供のエビデンス

今後のアクション

◆子供の意見を反映した遊び場づくりの推進

（子供の遊び場等整備事業）

- 子供の意見を踏まえた遊び場等を整備する区市町村を支援
- プレーパークやボール遊び場など、子供が遊べる屋外又は屋内施設を整備する事業が補助の対象
- 「学び」「居場所」「相談場所」「インクルーシブ」の機能も有する遊び場を優先的に採択

◆子供の遊びの機会の創出

新

（子供の未来を育む「体験活動」推進
区市町村支援事業（「遊び」特別推進枠））

- 子供の「遊び」を地域へ拡大・浸透させるため、**遊び体験の創出**やプレーリーダー等の人材育成、安全対策などに取り組む区市町村を強力に支援



遊び／居場所 に関する調査結果

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 都立公園にどんな売店があったら利用してみたいと思いますか？ ※複数回答



休憩スペースが近くにある (71.0%)



現金以外の決済方法に対応している (56.9%)



遊び道具などのレンタルサービスがある (54.6%)

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. (海の森公園について) ビジターセンターではどんなことが知りたいですか？

※複数回答



海の森公園の樹木や生き物 (75.3%)



環境問題 (60.0%)



森の育て方や、森を守る取り組み (52.5%)

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 学童クラブでやりたいことは何ですか？ ※複数回答



身体を動かす遊びをしたい (62.1%)



自然に触れる体験をしたい (54.5%)



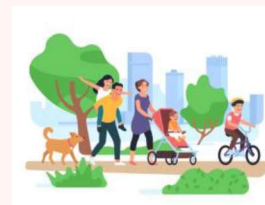
絵を描いたり工作などしたい (52.2%)

今後のアクション

◆都立公園のサービス施設の充実

拡

- 都立公園の売店の魅力的なサービス展開に向けた検討に活用



◆海の森公園ビジターセンターの展示や学習プログラムに反映

新

- 2025年3月にグランドオープンする海の森公園ビジターセンターの展示に反映
- 公園内の樹木や生き物が載っているパンフレットを作成予定
- 自然観察や環境学習プログラムを実施

◆認証学童クラブ制度創設に向けた検討

新

- 「東京都認証学童クラブ制度創設に向けた専門委員会」においてアンケート結果を共有し、認証制度創設に向けた議論に活用

居場所 に関する調査結果

【子供の居場所におけるヒアリング】

- 家に部屋がなく勉強スペースない（高校生@児童館）
- 母に指示されず自由でいられる（小学生@プレーパーク）
- なんでも規制されるから、そうじゃない場所がほしい（中学生@児童養護施設）
- 避難できるような場所がここ（高校生@ユースセンター）

【出前授業】

- 静かに勉強できる施設やいつでも遊べる場所を学校の近くに作ってほしい（小学生）
- 学生が自由に使える場所がほしい（高校生）
- 図書館とか以外にも、学生が無料で勉強できる場所がほしい。それを知る機会もほしい（高校生）

子供の意見

今後のアクション

◆子供の居場所創設事業

- 子供や保護者が気軽に立ち寄れる地域の「居場所」を創設する区市町村を支援
- 子供への学習支援や食事提供など、地域全体で子供や家庭を支援する環境を整備

◆子供食堂推進事業

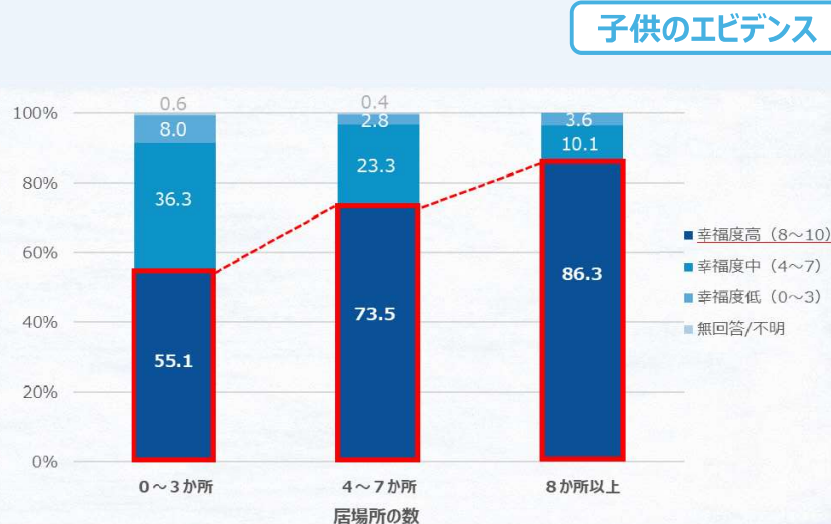
- 地域の子供たちへの食事や交流の場を提供する子供食堂の取組を支援
- 地域の見守り機能を一層強化できるよう、子供食堂スタッフのスキルアップを促進

◆子供の意見を反映した遊び場づくりの推進 （子供の遊び場等整備事業）

- 子供の意見を踏まえた遊び場等を整備する区市町村を支援
- 「学び」「居場所」「相談場所」「インクルーシブ」の機能も有する遊び場を優先的に採択

【とうきょう こども アンケート】

「居場所の数」と
「子供の幸福度」の関係
（クロス集計）



居場所に関する調査結果

【子供の居場所におけるヒアリング】

子供の意見

- ・ 自分で思ったことを日本語で話すのは難しい（小学生@日本語教室）
- ・ 友達と話したいけれど、日本語よく分からないし、「いつもいつも、通訳のように説明するのはヤダ」と言われる（中学生@日本語教室）

【出前授業】

- ・ 外国人も日本人もどんな状況でもどっちもサポートしてほしい（小学生）

【SNSを活用したアンケート】

Q. どのような場所があれば、日本語が得意でない人と交流しやすいと思いますか？



遊び（ゲーム等）ができる場所（61.1%）

※複数回答



スポーツができる場所（49.1%）



**映画・アニメ鑑賞ができる場所（41.5%）
一緒に音楽が楽しめる場所（41.5%）**

【子供の居場所におけるヒアリング】

子供の意見

- ・ フリースクールでは自由にできる（小学生@プレーパーク）
- ・ フリースクールは学校よりずっと楽しいところだと教えたい（小学生@プレーパーク）
- ・ ここはみんなが安心していられる場所ってイメージ（中学生@フリースクール）
- ・ 不登校で塞ぎ込んでいたが（ここにきて）気分が良くなった。まえにすすむきっかけになった（その他（19歳）@フリースクール）

今後のアクション

◆多文化キッズコーディネーター設置支援事業

- ・ 日本語を母語としない子供等の困りごとに寄り添う「多文化キッズコーディネーター」を配置する区市町村を支援
- ・ 専門的な知見を有するスーパーバイザーチームを設置し、活動を支援

◆多文化キッズサロン設置支援事業

- ・ 「多文化キッズサロン」を設置し、日本語学習や教科学習、悩み相談のほか、遊び等を通じた仲間との交流を実現

◆フリースクール等の利用者・フリースクール等への支援

拡

- ・ 学校生活になじめず生きづらさを抱える小・中学生がフリースクール等に通う場合の利用料の助成や、子供目線に立った取組を行うフリースクール等への支援を行うとともに、学校外の多様な学びの調査研究を実施

学校の居心地に関する調査結果

子供の意見

【子供の居場所におけるヒアリング】

- 無理やりおしつけられると困る、一緒に考えてくれると勇気が出る
(小学生@放課後学童クラブ)
- 校則について納得いかななくてもそれを大人に言う気はしない (中学生@児童館)

【出前授業】

- 私達のクラスで考えたらけんかが多くメンタルケアが足りなくて笑顔にならない時がある
(中学生)

【SNSを活用したアンケート】

Q. 快適な学校生活を送る上で、特に大事だと感じることは何ですか？※3つまで回答可



1 学校は自分にとって居心地がよいか (75.1%)



2 学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役立つか (44.1%)



3 安心して相談できる先生や職員がいるか (41.7%)

子供のエビデンス

Q. あなたの学校や職場は、自分にとって居心地が良いですか？



Q. 学校について、不満に感じることはありますか？※複数回答



※「学校への不満がある」は、「友人や先輩・後輩との関係」「校則など生活上のルールが厳しい」など、「特にない」以外の選択肢のいずれかを選んだ子供の割合

今後のアクション

◆学校の居心地向上検証プロジェクト 新

- 学校の居心地をより良くするための取組を研究機関等と連携して実施し、科学的なエビデンスに基づいて効果を検証
- 都教育委員会や区市町村教育委員会と連携し、都内の高等学校及び中学校を新たに設定
- 高等学校・中学校に適用するスキーム等を踏まえ、小学校を対象としたスキームの検討に着手



◆スクールソーシャルワーカー活用事業

- 関係機関等とのネットワークによって、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待やヤングケアラー等の課題に対応する区市町村へ補助

◆スクールカウンセラー活用事業

- 児童及び生徒の心理に関して、高度に専門的な経験を有する者を配置し、いじめや不登校等の未然防止、改善及び解決並びに学校内の教育相談体制等を充実

調査結果と今後のアクション【学び】

体験活動に関する調査結果

【子供の居場所におけるヒアリング】

- ここに職業インタビュー制度や職場体験もあるのがとてもよい（高校生@学習支援拠点）

【出前授業】

- 人生でまだ体験したことないイベントなどをやってほしいです（中学生）

【SNSを活用したアンケート】

Q. 学校外でどんな体験活動があると思いますか？※複数回答

1 職業体験（56.9%） 2 文化・芸術体験（43.3%） 3 スポーツ体験（41.3%）

Q. 体験活動に参加する上で、要望はありますか？※複数回答

1 中高生向けの体験活動を増やしてほしい（58.4%）
2 安く参加できるようにしてほしい（45.4%） 3 その道のプロに教えてほしい（38.7%）

【中高生 政策決定参画プロジェクト】

- 中高生向けの職業体験が少ない
- 職業体験についての情報が散乱している

【とうきょう こども アンケート】

Q. 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい



子供の意見

子供のエビデンス

今後のアクション

- ◆子供の声を反映した体験活動の推進（子供の未来を育む「体験活動」推進区市町村支援事業）

- 区市町村における学校外の体験活動の創出を促し、全ての子供が多様な体験活動にチャレンジできる環境を整備



- ◆職業体験プラットフォーム（仮称）の構築

- 職業体験を希望する中高生と企業・団体とをマッチングするWebサイトを構築
- 中高生が、企業・団体の取組等を取材レポートし、中高生ならではの視点で発信



体験活動/学びの環境に関する調査結果

今後のアクション

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 水上バスで東京港を見学する「社会科見学船」でどのようなことがしたいですか？

※複数回答



東京港の様子を実際に見る (72.7%)



東京港の豆知識をクイズ形式で教えてもらう (61.5%)



東京港で働く人から話を聞く (47.1%)



【子供の居場所におけるヒアリング】

子供の意見

- 家だと集中できないが、ここだと集中できる。**友達と落ち着いて勉強できる**ところ
(高校生@児童館)
- 学習支援の回数が**もっと多かったら嬉しい** (中学生@学習支援拠点)
- 勉強は**成長が感じられる**から好き (中学生@児童館)
- **わかると楽しい**。わかるようになるのが楽しい (中学生@児童館)

◆社会科見学船の案内の充実 **拡**

- 小中学生の社会科見学船内での案内にクイズ形式を取り入れ、より主体的に東京港に興味を持ってもらえる内容となるよう改善
- 社会科見学船の募集案内の際に、**学習動画を学校へ紹介**

◆地域未来塾（スタディ・アシスト+）

- 学習支援が必要な全ての児童・生徒を対象（小・中・高）とし、大学生や教員OB、NPOなど**地域人材の協力により学習支援を実施する区市町村を支援**



キャリア・起業に関する調査結果

【子供の居場所におけるヒアリング】

子供の意見

- ・ 体験する機会があったから、将来は石大工になりたい（小学生@子供食堂）

【出前授業】

- ・ 学校では学べない社会をこれから生きていく上での必要な知識を学ぶ場所を設けてほしい（高校生）
- ・ 起業したい子供のサポートをするときに、子供向けの何かをするよりも大人向けに作られているものに参加できる機会の方が子供のためになる気がする（高校生）

【SNSを活用したアンケート】

Q. あなたが自分の将来について思いを巡らせる時、特にどういったことを考えたり、気になったりしますか？ ※ 3つまで回答可

1

描く進路でどんな問題があるか（費用不足、方法が分からない等）
(43.0%)

2

20年後に一番叶えたいことは何か（好きな仕事、結婚等）(40.9%)

3

社会のために役立つ仕事ができるか (32.1%)

【とうきょう こども アンケート】

子供のエビデンス

Q. 将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか？ ※複数回答
(上位5項目抜粋)

自分の努力不足	希望する将来像や進路を実現する方法が分からない	まだ分からない	進学費用が足りないなど経済的な問題	特に問題はない
37.1%	28.5%	26.1%	23.6%	11.4%

今後のアクション

◆NPOと連携した社会人基礎力向上事業

拡

- ・ NPO等がコーディネーターとして総合学科高校のカリキュラム編成等に携わるとともに、アドバイザーとして生徒の学びを支援
- ・ 「生きる力」の育成を目指す実践的・体験的な学習のプログラムの開発・展開

◆Tokyo IBL Project Scope

新

- ・ 社会で求められる資質・能力を育むため、生徒の興味・関心に対応するプログラム開発、大学や企業との連携強化など、都立高校全体の探究活動を充実・深化

◆TIB Students ～アントレプレナーシップ育成プログラム推進事業

拡

- ・ 挑戦する若者を応援するムーブメントを拡大するため、Tokyo Innovation Base (TIB) でのイベント・講演や、学校へ講師を派遣する出前授業を実施するほか、アントレプレナーシップ教育を実践する団体等の情報交換の場を設定

デジタル教育・体験に関する調査結果

【子供の居場所におけるヒアリング】

子供の意見

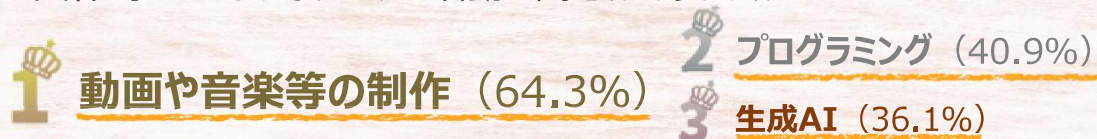
- 勉強で気になったことがあればすぐに**スマホで調べている**（小学生@プレーパーク）
- 先生を目の前にすると頭が真っ白になって、何を聞きたかったか分からなくなってしまうので**siriとかbotがあるといい**（中学生@子供劇場）
- プログラミングソフトを使うのが楽しい**（中学生@児童館）

【出前授業】

- AIが授業をしてほしい**（小学生）
- ミライシード（学習デジタルコンテンツ）**に新しい単元を入れてほしい（小学生）
- 電子黒板にしてほしい**（小学生）

【SNSを活用したアンケート】

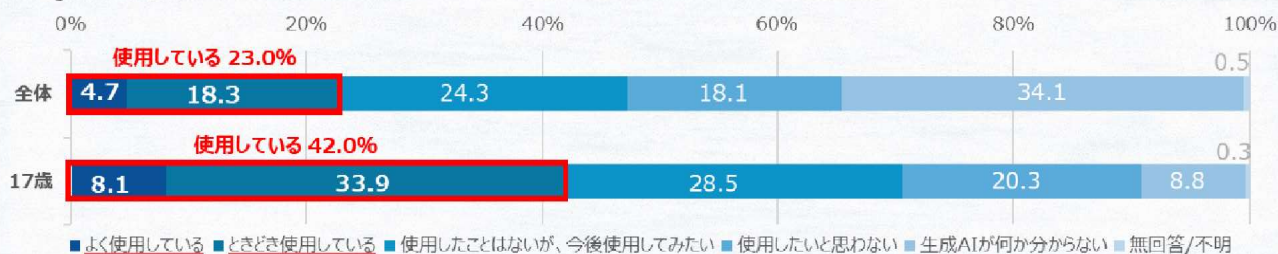
Q. 具体的にどのようなデジタル活動に関心がありますか？ ※複数回答



【とうきょう こども アンケート】

子供のエビデンス

Q. 生成AIを使用していますか？



今後のアクション

◆TOKYOスマート・スクール・プロジェクト

拡

- 全都立学校において、**効果的・効率的に生成AIを活用できる環境を整備**
- AI教材**（動画、指導用スライド等）を**作成・展開**し、子供たちのAIリテラシーを育成



◆とうきょうこどもクリエイティブラボ（愛称：くりらぼ）

拡

- 区市町村と連携し、**デジタルツールを使った創作体験プログラム**を実施
- 小中学生が**事前申込みなし**でいつでも**デジタル創作体験**ができる**常設拠点（くりらぼベース）**をSusHi Tech Squareで運営
- 民間企業・団体等と連携し（くりらぼネットワーク）**、体験コンテンツの充実や子供たちのデジタル体験機会を拡充

グローバルに関する調査結果

子供の意見

【子供の居場所におけるヒアリング】

- （外国に行ってみたいが行かない理由は）お金がないし、言葉も話せない
（中学生@プレーパーク）

【出前授業】

- 姉妹校などを設けて、海外と交流する機会を増やしてほしい（小学生）
- 海外と交流したい（小学生）
- （これから社会に出るため）日本語や英語以外の言語を学びたい（小学生）

【SNSを活用したアンケート】

Q. 使える英語力を身につけるには、どのようなことが重要だと思いますか？ ※複数回答

1

英語に触れる機会を増やすこと（67.6%）

2

間違ってもいいから、とにかく会話すること（60.5%）

3

英単語を覚え、文法を正しく理解すること（39.5%）

【とうきょう こども アンケート】

Q. 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思いますか？



子供のエビデンス

今後のアクション

◆都立学校の国際交流プログラム 拡

- 都立学校生を海外に派遣し、様々な交流プログラムを提供
- 2025年度は、SDGs取組先進国における事例学習や企業訪問等を行うコースを新設

◆TOKYO ENGLISH CHANNEL 拡

- 多様な動画教材の提供や海外の生徒と議論する場の設定など、多様なコンテンツを実施
- 2025年度は、都立高校生を対象に英語を活用する職場で仕事を体験できる取組を開始

◆外国語に触れる機会の創出 拡

- ネイティブ人材が在籍し、生活の中で場面に即した英語でのやりとりを行う「イングリッシュ・ウィーク」、「イングリッシュ・キャラバン」の実施校数を拡大



📢 調査結果と今後のアクション【悩み/相談】

相談方法 に関する調査結果

【子供の居場所におけるヒアリング】

子供の意見

- **LINEで話すことで直接会話しなくても話しやすい**と感じる（中学生@ユースセンター）
- **個人が特定されないか怖い**と思ってやめてしまう（高校生@学習支援拠点）
- 知っている人より知らない人の方が相談しやすい（中学生@ユースセンター）
- **相談しないし、する人がいないし、言うだけ無駄**（高校生@児童館）

【出前授業】

- 悩み相談とかを**メール、電話以外**でやりたい（中学生）
- 電話などで相談できる場所があるけど、**声にして伝えるのが難しいことがあるから他の方法を設けてほしい**（中学生）
- より気軽に相談できるように、**AIを使った相談状況管理**などをする（高校生）

【SNSを活用したアンケート】

Q. あなたが日常的に利用するデジタル機器は何ですか？ ※複数回答



【とうきょう こども アンケート】

子供のエビデンス

Q. 今、悩んでいることはありますか？ ※複数回答



※「悩んでいることがある」は、「勉強に関すること」「将来に関すること」など、「悩みはない」以外の選択肢のいずれかを選んだ子供の割合

今後のアクション

◆子供・子育てメンター“ギョッとチャット”

拡

- 2025年度から、**AIチャット（チャットボット）**や**AIによるおすすめの相談相手の紹介**など、一人ひとりに応じた提案や相談サービスの充実が実現できる環境を拡充
- 利用者の選択肢を広げ、サービス全体の利用率や応答率の向上を図れるよう、**生成AIの導入検証**を実施



ギョッぴい
マスコットキャラクター

◆SNS等を活用した教育相談体制の確立

- 日常的に用いるSNS等を活用し、友達関係やいじめ、進路などの悩みを抱える児童・生徒が**気軽に相談できる相談窓口を設置**



相談窓口等の案内に関する調査結果

子供の意見

【出前授業】

- 私達が気軽にサポートを受けられるような**堅苦しくない広報**があればいいと思います（高校生）
- CMや**SNSなど**を利用し「こういうサイト」もあることを知ってもらう必要があると考えられる（高校生）

【SNSを活用したアンケート】

Q. ヤングケアラーについて広く社会に周知し、理解してもらうために、一番効果があると思うものを一つ選んでください。※「わからない/答えたくない」を除く

1 学校での授業の実施（45.2%）

2 ヤングケアラーの経験談を基にした啓発動画をSNS等で配信（25.9%）

3 ポスターなど周知のためのグッズ作成・配布・掲示（5.2%）



Q. 東京都の相談窓口について、どのようなコンテンツがあれば興味・関心がわきますか？ ※複数回答

1 まんが（48.7%）

2 動画（41.5%）

3 広告ポスター（17.3%）

Q. YouTubeではどのジャンルの動画を見る人が多いですか？ ※複数回答

1 音楽（66.2%）

2 バラエティ（46.4%）

3 アニメ（40.4%）

今後のアクション

◆都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム

- 都立学校において、ヤングケアラーについてなど、学校のニーズ等に対応した**多様な教育プログラムを導入・実施**



◆ヤングケアラー普及啓発事業

- SNS広告など、当事者世代に身近な**デジタル広告等**を活用し、専用ホームページ「**ヤングケアラーのひろば***」を戦略的に広報
*ホームページは出前授業でも活用
- ヤングケアラーの定義など法改正の内容について分かりやすく情報を届けられるよう、**動画コンテンツを新たに制作**

◆子供・子育てメンター“ギョツとチャット”

拡

- 相談すること（ギョツとチャットの利用）に対する心理的な障壁を和らげるため、**漫画など楽しめるコンテンツ**を用意
- 多くの子供たちが閲覧する**SNS等**にサービスを周知する**動画広告**を掲載し、効果的に情報発信

調査結果と今後のアクション【安全・安心】

インターネット上の安全に関する調査結果

子供の意見

【子供の居場所におけるヒアリング】

- YouTube配信したい（小学生@児童養護施設）
- 現実の友達よりネット友達がいる（中学生@子供食堂）
- お母さんにゲームで交流していたら、年齢も性別も誰かもわからない人と交流するのはやめてと言われた（中学生@フリースペース）
- 友達からネット中毒の相談はよく受ける（高校生@子供食堂）

【出前授業】

- 最近犯罪みたいなことが多いから、もっと安全に暮らせるようにしてほしい。闇バイトみたいなものにひっかかってしまったりすることがあるかも…（小学生）

【SNSを活用したアンケート】

Q. あなたが日常的に利用するデジタル機器は何ですか？ ※複数回答



【とうきょう こども アンケート】

子供のエビデンス

Q. 過去1年以内に、インターネット上で嫌な経験をしたことがありますか？ ※複数回答



※「嫌な経験をしたことがある」は、「暴言や傷つくことを言われた」「無視された・仲間外れにされた」「会ったことのない人から会うことを求められた」など、「特に嫌な経験をしていない」以外の選択肢のいずれかを選んだ子供の割合

今後のアクション

◆インターネット利用適正化・性被害等防止対策

- インターネットやスマートフォンを使う上でのトラブル回避、スマホの適正な利用等について学ぶ講座を展開
- SNS上でのトラブル（誹謗中傷等）を防止するための啓発動画及び静止画作品を募集し活用

◆ネット・ケータイヘルプデスクの運営・活用

- インターネットやスマートフォン利用時におけるトラブルや被害に巻き込まれた際の相談を実施
- 利用者の困りごとにマッチした相談事例を提供するためのチャットボットを運用



交通安全/救急に関する調査結果

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. ヘルメットを被るきっかけは何ですか？ ※複数回答



事故に遭うと危険だと思うから (77.4%)



親に言われたから (69.0%)



昔から被り続けているから (49.2%)

Q. ヘルメットを被らない理由は何ですか？ ※複数回答



被るのが面倒だから (55.4%)



周りの人が被っていないから (39.1%)



髪型が崩れるから (36.5%)

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 「東京版救急受診ガイド」を使いにくいと感じた理由は何ですか？ ※複数回答



文字情報だけだと症状がイメージしづらい (65.9%)



相談結果にたどり着くまでの操作回数が多い (43.9%)



選択できる症状の数が少ない (31.7%)

Q. 今後「東京版救急受診ガイド」に備わったら使いやすくなると思う機能は何ですか？ ※複数回答



現在の位置情報から近くの病院を表示できる機能 (78.9%)



チャットによる対話形式で症状などを相談できる機能 (50.9%)



音声を変換しテキストに変換し症状などが入力できる機能 (36.3%)

今後のアクション

◆自転車安全利用の推進 拡

- ヘルメット着用促進施策に反映
- 自転車用ヘルメット着用の努力義務や自転車運転中のながらスマホの禁止など、知っておくべき自転車のルールをまとめた冊子を作成・展開



◆「東京版救急受診ガイド」の機能拡充

拡

- 機能刷新・拡充の検討に際しての参考として活用



調査結果と今後のアクション【まちづくり】

まちづくりに関する調査結果

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 緑や自然に触れ合える場所やイベントを探るとき、どのように情報収集をしていますか？

※複数回答

1 インターネットやSNSの検索 (80.8%)

2 自治体の広報誌 (32.2%)

3 テレビ (25.7%)

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 普段の生活の中で大気を汚す物質を出すものとして知っているものは何ですか？

※複数回答

1 ガソリン車の排気ガス (95.2%)

認知度が低い

油性ペンキ (30.0%)、マニキュア (21.8%)、油性ペン・接着剤 (19.9%)

【こどもワークショップ】

子供の意見

- 多摩都市モノレール延伸部（上北台～箱根ヶ崎）のまちづくり
- 安らぎがあるまち
- 子育てに優しいまちも大事
- ブランド力あった方がいい
- おもしろい音楽がまちに流れている
- 地産地消すれば、地域の活性化にもつながる



ワークショップの様子

今後のアクション

◆東京グリーンビズの推進

拡

- ・ 特設HPの開設やSNSの活用など、情報発信を強化
- ・ 東京グリーンビズマップでの緑のスポットやイベント等の掲載情報を充実

◆ClearSky実現に向けた大気環境改善についての普及啓発

拡

- ・ 認知度が低い項目について出前授業やイベント等で重点的に普及啓発を実施



◆多摩都市モノレール延伸部（上北台～箱根ヶ崎）のまちづくり

拡

- ・ 多摩都市モノレール延伸部のより魅力的なまちづくりに活用



調査結果と今後のアクション【スポーツ/文化】

スポーツに関する調査結果

【こどもワークショップ】

子供の意見

- 東京2025世界陸上～大会を通じて、わたしたちが実現できること～
- ・ 競技を実際に体験しその面白さを知ってもらうことで、興味を持つ人が増え、人気が出るきっかけになる
- ・ 舞台に立った選手全員にメダルをプレゼントしたい。折り紙で作るのもいいので、選手を応援している気持ちを伝えたい
- ・ 環境対策について、世界陸上が良いアピールの場になると良い

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 世界陸上を観戦するにあたりどんなことをしたいですか？ ※複数回答

1 会場・会場周辺等でしか味わえない体験（誰でも楽しめる競技体験等）（58.5%）

2 会場でしか味わえない体験（みんなで応援グッズを持って声援を送る等）（58.2%）

3 海外・国内選手の活躍を会場に行って観たい（53.9%）

Q. 世界陸上・デフリンピックに興味を持つ人をさらに増やすために、どのようなきっかけがあればいいと思いますか？ ※複数回答

1 学校や保育園等にあそびに来る（72.9%）

2 実際に競技を体験する（63.2%）

3 広報の充実（48.5%）

今後のアクション

◆東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックの開催支援、子供の参画、気運醸成 **拡**

- ・ 両大会の気運醸成イベント等において**競技体験を実施**
- ・ 子供たちからのメッセージを集め、選手に届けるとともに、**会場での盛り上げなどに活用**
- ・ 競技の観戦機会の提供に加え、**競技以外の大会の裏側を見学できる機会の創出など、多くの子供たちの参画機会を創出**
- ・ 大会期間中に子供たちが**スポーツの楽しさを感じられる取組を実施**
- ・ **資源循環や再生可能エネルギーの活用の観点から環境負荷の低減のための取組を実施**



スポーツ/文化 に関する調査結果

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q.どのような機会や環境があると、今よりもスポーツが好きになるとおもいますか？

※複数回答



気軽にスポーツができる場所がある (68.7%)



知らないスポーツを知ったり、やったことのないスポーツを体験できる (49.3%)



憧れの選手の試合を見たり、選手に会うことができる (41.1%)

【SNSを活用したアンケート】

子供の意見

Q.学校外でどんな体験活動があるいいと思いますか？ ※複数回答



職業体験 (56.9%)



文化・芸術体験 (43.3%)



スポーツ体験 (41.3%)

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q.どのような芸術や文化に興味がありますか？ ※複数回答



アニメ・マンガ (72.9%)



音楽 (65.8%)



映像 (映画、メディアアート) (61.4%)

今後のアクション

◆東京都スポーツ推進総合計画 策定

拡

- 2025年3月に策定予定の「(次期) 東京都スポーツ推進総合計画」において、子供のスポーツ振興に向けて、**現状や課題を認識**
- 回答結果を踏まえ、スポーツ好きな子供を増やすなど、**今後の取組の方向性に反映**

◆ネクスト・クリエイション・プログラムの内容検討

拡

- どのような芸術文化に興味があるのかを把握し、**新規プログラムを企画検討**する際に、**分野を選ぶ参考として活用**

NEXT
CREATION
PROGRAM



調査結果と今後のアクション【広報】

広報に関する調査結果

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 「広報東京都こども版」の有名人へのインタビュー記事として、どんな人の記事を読みたいですか？ ※自由回答

A. スポーツ選手、芸能人、科学者など多様な分野の有名人の記事が読みたいという意見があった。

◆「広報東京都こども版」の掲載記事に 拡 反映

- 回答に上がった職業の有名人へのインタビュー記事を掲載するなど、記事内容を充実

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. (中高生への情報発信) 興味・関心がある情報をどこから得ていますか？ ※複数回答

 **インターネット (65.1%)**  学校からのお知らせ (57.1%)  SNS (50.0%)

Q. インターネットで情報を探す際に困っていることは何ですか？ ※複数回答

 **欲しい情報がまとまっておらず、探しにくい (51.5%)**

 どのホームページに欲しい情報があるかわからない (48.1%)

 情報量が多すぎて必要な情報がわからない (44.3%)

◆中高生Webサイト（仮称）の 新 構築

- 中高生にとっての「都政への玄関口」となる「中高生Webサイト（仮称）」を制作



【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. (消防官募集広報) どの広告媒体であれば詳しく見ようと思いますか？ ※複数回答

 **電車やバス内広告 (59.8%)**

 YouTube、SNS等のデジタル広告 (53.2%)

 テレビ (46.0%)

◆消防官募集活動の充実 拡

- 広報展開を検討する際の参考として活用



広報に関する調査結果

【こども都庁モニター】

子供の意見

- 子供の笑顔を育む先進的な取組を行う企業・団体を表彰する「こどもスマイルムーブメント大賞」最優秀賞をモニターの投票により決定

【子供部門】

【子育て世代部門】



「子供たちによる
フリーマーケット」(51.1%)



「育業者のみならず周囲も
支える育業応援手当制度」(42.5%)

【こども都庁モニター】

子供の意見

- 東京都こども基本条例の普及啓発を目的としたポスターコンクールを実施
モニターをはじめとする子供の投票により各部門の最優秀賞等を決定

【小学校低学年部門】最優秀賞

【小学校高学年部門】最優秀賞

【デジタル部門】デジタル特別賞



「みんながヒーロー、
わたしの東京」



「幸せに感謝」



「笑顔あふれるまち東京」



【SNSを活用したアンケート】

子供の意見

Q. 同年代の悩みごとについて、特にどんなことが気になりますか？ ※3つまで回答可



「どんなことで悩んでいるか（勉強、進学、将来等）」(64.1%)



「困ったり悩んだりしたときに誰に相談しているか」
(39.5%)



「相談できる人が何人いるか」
(32.0%)

今後のアクション

◆こどもスマイルムーブメント大賞 最優秀賞の決定

- 最も多く投票があった
取組を最優秀賞
として決定し、
表彰式を実施



◆東京都こども基本条例ポスターコンクール 最優秀賞等の決定

- 左記の3作品を含む、計7作品を入賞
作品として決定し、表彰式を実施
- 入賞作品を、ラッピングバスや、商業施設
内のデジタルサイネージへの投影、こども
ホームページへの掲載など、東京都こども
基本条例の普及啓発活動に活用

◆とうきょう こども アンケート

- 中2・17歳のアンケート
結果を掲載した子供向け
報告書の内容に反映



調査結果と今後のアクション【その他】

その他に関する調査結果

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 「東京都子供・子育て支援総合計画」の中でもっと充実してほしい目標は何ですか？
※複数回答



子供の成長に合わせて、いろいろなことを助ける仕組み（52.9%）



子供の心と体が健康に育つ仕組み（47.1%）



地域で、妊娠・出産・子育てまでを途切れず助ける仕組み（33.2%）

【こどもワークショップ】

子供の意見

- こうなったらいい未来の東京
 - ・ **子供を育てやすい環境**を作る
 - ・ **メタバース**。仮想空間を使うことで、仕事もリモートでしやすく、場所や障害・性別・年齢関係なくできることが増える
 - ・ **いろんな人とふれあえる仕組み**があるといい

【こども都庁モニター】

子供の意見

Q. 明るい未来の東京をつくりあげるために、どのような取組が重要だと思いますか？
※複数回答



災害が起きても安全・安心な環境の整備（68.5%）



子育てしやすい環境づくりや未来を担う子供・若者の成長を支援（60.9%）



省エネや再エネの推進、リサイクルに向けた取組の強化など環境にやさしいまちづくり（48.1%）

今後のアクション

◆第3期子供・子育て支援総合計画の策定 拡

- ・ 「東京都子供・子育て会議」の資料に活用
- ・ **第3期子供・子育て支援総合計画（2025年3月公表予定）策定**

◆「2050東京戦略（案）」の策定 拡

- ・ 東京都の新たな戦略「2050東京戦略（案）」の策定に活用
- ・ ワークショップで聞いた子供の声やアンケート結果は、「2050東京戦略（案）」で紹介するとともに、戦略の強化に反映



ワークショップの様子

子供たちの様々な声

子供の居場所におけるヒアリング

子供食堂

- ◆ 他人じゃないと話せない、身内だと話した後気まずい（中学生）
- ◆ 大人にめっちゃ言いたい。こうゆうはなしがいっぱいしたい。また参加したい（中学生）

児童館

- ◆ 暑い時は公園には行かない。ここは暑くないから毎日来る（小学生）
- ◆ 自分にとって信頼できる人だったら相談できる（中学生）
- ◆ 学割のある施設もあるけど、高校生になると途端にお金がかかる。もっと学割欲しい（高校生）

学習支援拠点

- ◆ スタッフが友達っぽくて話しやすい。学校のことを話せる（中学生）
- ◆ （このスタッフは）自分の話を最後まで聞いてくれる。解決を真剣に考えてくれる（高校生）

ユースセンター

- ◆ （ここは）誰でも受け入れてくれる（中学生）
- ◆ 遊びたいけど勉強あるから長くは遊べない（高校生）
- ◆ 家にいてもうるさく言われる（高校生）
- ◆ 自分の意見を話すのが苦手。泣きたくないのに泣いてしまうから（高校生）

児童養護施設

- ◆ ルール変えてと言うのはめんどくさい。言う時間もつたない（小学生）
- ◆ ストレス解消する場所がない（小学生）
- ◆ そう言う人たち（公的な窓口）、もともと嫌い。一緒に考えてくれない（小学生）
- ◆ ここは一人部屋になれない。受験生なのに（中学生）

出前授業

小学校

- ◆ 困っている子供がいたら、まわりの大人などに助けを求めたり、**大人が「大丈夫？」**というような**声かけ**をしたらどうかと思いました
- ◆ もっと**子育て世帯への支援を拡充**することをしてほしい
- ◆ **親が子供に寄りそえる社会**を作るべきだと思う
- ◆ 共生社会達成のために**障害者でも便利な社会**を
- ◆ 一人一つ防災グッズがほしい
- ◆ 「権利の主人公」になるために、**子供も意見を言えるような仕組み**を作ってほしい
- ◆ 今生きてる子供も大切だけど、私たちが大人になった時の**未来で生きている子供のことも**考えないと、少子化が進むと思う

中学校

- ◆ **他の学校とかと交流**してみたい
- ◆ もっと簡単に島外に行けるようにしてほしい。海中トンネルを作してほしい
- ◆ **作り笑顔で本当は悩んでいる**人もいる
- ◆ **家族の事情で夢をあきらめてしまう**人もいるから自由になれない
- ◆ 受験の時の**障害者の配慮の改善**

高校

- ◆ **大人が笑顔じゃなかったら子供も笑顔になれないこと**を気付いてほしい
- ◆ **平等よりも公平を重視**してほしい
- ◆ 今の東京都に足りないところは発展しすぎていて**近所の人などとコミュニケーションがとりにくいところ**！
- ◆ 子供の権利を保障するときに、**子供でくるといより大人と変わらずに保障されるためのサポート**というアプローチをしてほしい

- 子供たちから、日頃感じている様々な思いを伝えてもらいました。引き続き丁寧に対話を続け、寄せられた声を受け止めながら、都の施策に子供の意見が適切に反映されるよう取り組んでいきます。



2024年度取組 中高生 政策決定参画プロジェクト

都内の中高生12名が、「将来のためになるリアルな体験活動の充実」をテーマに、約半年間にわたり議論しました。

6月9日
オリエンテーション

6月～8月
グループワーク（3回）

初めてメンバーが集まり、自己紹介の後、**多くの中高生の将来のためになる体験活動は何か**について議論しました。

【多くの中高生のためになる体験活動とは？】

- 中高生は進路選択など将来について考える重要な時期
- しかし、進路や将来像を明確にするための実践的な学習が不足

職業体験に関する政策提案をすることに決定！



職業体験の問題点や理想について議論し、提案する**政策の方向性**を打ち出しました。

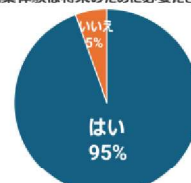
【現状と問題点】

- 中高生向けの職業体験が不足
- 見学ベースなどリアルさがない
- 情報が散乱

【理想】

幅広い選択肢から選ぶことができる
リアルな職業体験

職業体験は将来のために必要だと思うか



LINEアンケート 1050名
(都内在学もしくは在住の中高生)

今まで職業体験をしたことがあるか



学校内アンケート 341名
(都内在学もしくは在住の中高生)



【解決策の方向性】

- ・ **中高生の声を企業に届ける**
- ・ **職業体験に関する情報を集約**

ホームページで
提案資料や
記録映像を
公開しています



進路選択に生かすことができる**職業体験に関する政策案**を取りまとめ、**知事へ提案**を行いました。

7月～8月
企業訪問・中間報告会

8月～10月
グループワーク（3回）

10月29日
知事への政策提案

職業体験を行っている**企業の経営層の方や都職員と**、
検討中の**政策案**について**意見交換**を行いました。

【企業・都職員からのフィードバック】

- 中高生がどのような職業体験を望んでいるかが分からない
- 実現するためのコストを考慮してほしい

コストも考えつつ**企業にもメリットの
ある政策**となるようにブラッシュアップ！



これまでの議論の集大成として、**知事へ政策提案**を行いました。

「**中高生のための職業体験の総合サイト**」を構築したい！

幅広い選択肢から選択でき、希望する職業体験ができるよう、
中高生と職業体験を行う企業をつなぐ仕組みを提案



提案の政策への反映

提案内容は、**令和7年度予算案に反映**しました。（詳細はP.186）

【中高生】・応募
・企業研究



職業体験
プラットフォーム（仮称）

- ✓ 職業体験の紹介
- ✓ 業界・業種紹介 など

・体験プログラム
提供
・企業紹介



【企業・団体】



参加者の声

- ✳ 政策を提案するという
- ✳ 今まで自分の意見を伝
ゴールに向かって、理由
を考へたり情報を集めたりとプロセスを踏んでいくというのがすごく楽しかった。
- ✳ 今まで自分の意見を伝えるのが苦手で相手に合わせていたが、自分の意見が周りに受け入れられて自信がついた。

2024年度の取組 こどもワークショップ

こどもワークショップの概要はこちら



子供政策連携室が伴走支援し、3局3テーマで、参加した子供達から意見を聴きました

政策企画局

未来の東京



日程

2024年8月25日（日）

場所

日本科学未来館

テーマ

▼小学生

- ①理想の東京を考えるワーク
- ②自分が都知事だったら25年後の東京をこうします！宣言

▶▶▶ 東京都の新たな戦略である「2050東京戦略（案）」の策定に活用

生活文化スポーツ局

東京2025世界陸上

～大会を通じて、わたしたちが実現できること～



日程

2024年8月20日（火）

場所

国立競技場

テーマ

▼小学生

- ①大会を通じたスポーツ体験
- ②選手へ応援の気持ちを伝える取組

▼中学生

- ①大会の運営に参加する取組
- ②環境にやさしい大会の実現

▶▶▶ 大会を通じて東京の未来につなげる取組に活用

都市整備局

多摩都市モノレール延伸部

（上北台～箱根ヶ崎）のまちづくり



日程

2024年8月23日（金）

場所

立川駅周辺会議室

テーマ

▼小学生・中学生・高校生

- ①自分のまちのよいところ、もっとこうだったらいいのになと思うところ
- ②こうだったらいいな！理想のまち！

▶▶▶ 多摩都市モノレール延伸部のより魅力的なまちづくりに活用

ワークショップ当日の流れ

01

アイスブレイク

緊張をほぐし、コミュニケーションを円滑化



02

テーマ説明

ワークショップのテーマについて説明



03

意見交換

4グループに分かれ、意見交換



04

発表

意見をまとめ参加者や関係者等、全体に共有



05

振り返り

ワークショップ全体の振り返り



ありのままの子供の声を聴くため、工夫したポイント

✓ 安心して意見を言える環境作り

子供の状況に合わせて、ファシリテーターが議論をサポートしました。また、大人はなるべくカジュアルな服装をする、ニックネームを決めて呼び合う等、リラックスした雰囲気にするための工夫をしました。

✓ 3つの約束事の徹底

- ① 誰が何を話したかは、誰にもわからないようにする
- ② 全て大切な意見だから、どんな事でも話してよい
- ③ みんなの声は必ず東京都の人達に届ける

以上、3点をワークショップ開始時に、参加者と約束しました。

Topic!

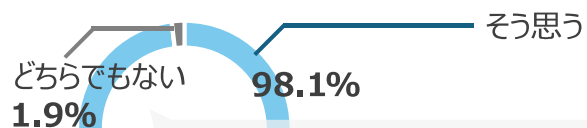


グラフィックレコーディング

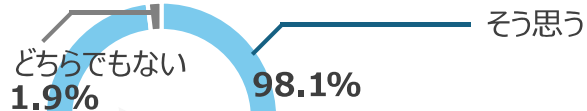
会議やプレゼンの内容を絵や図形でまとめる手法。議論の大事な点や結論が見える化し、議論の振り返りに役立てました。

アンケート結果

※対象：参加者53名



こどもワークショップに参加してよかったと思いますか



今日のワークショップでは言いたい意見が言えましたか

その他にも、

- ・こんなに自由に話し合えたのは初めて
- ・東京や国の問題について深く具体的に考えられる機会はあまりないから、この体験を大切にしたい

等の感想をいただきました。



子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート」

- 従来の行政分野の枠組みにとらわれず、**子供に関する実態や意識の変化を継続的に把握**するため、2023年からこの調査を実施しています。

調査概要

- 調査対象：都内在住の**小学3年生、小学5年生、中学2年生、17歳の子供及びその保護者**
並びに **3歳児の保護者** 計**10,500世帯**
- 調査手法：郵送法（郵送配布、郵送回収・WEB回答併用）
- 調査項目

①	子供／保護者自身について
②	子供の安全安心について
③	子供の遊び場・居場所について
④	子供の学び・成長について
⑤	子育て家庭支援について
⑥	子供の意見表明、参加、権利擁護について
⑦	社会的情勢の変化による影響について
⑧	基本情報

子供向け報告書

子供たちにアンケート結果をわかりやすく伝えるため、2024年から子供向け報告書を作成



- 成長・発達段階に応じて**3種類の子供向け報告書**を作成し、それぞれ小3、小5、中2・17歳のアンケート結果を掲載
- **子供の意見を報告書の内容やデザインに反映**
- アンケート結果について考える出前授業を実施

ホームページ

（子供政策連携室ホームページ内）



⇐ 調査報告書全文・
子供向け報告書はこちら



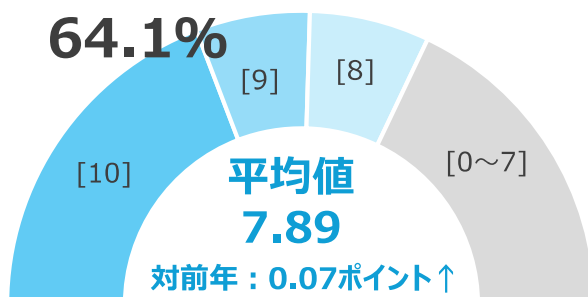
2024年調査の結果の一部を紹介します！

- 全体的な傾向として、東京の子供たちは、自身の状況や周囲の環境等を肯定的に評価している割合が高い

幸福度【子供】

今の自分は幸せかについて、
とてもあてはまると回答した割合

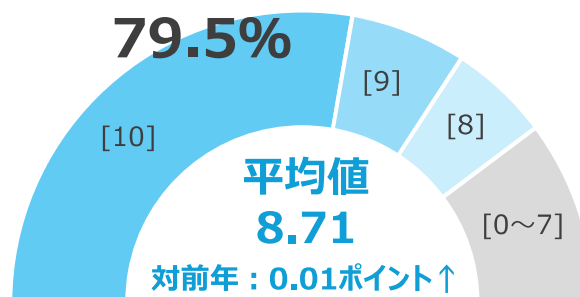
(0-10の11段階のうち8-10の割合)



家族との関係【子供】

家族との関係は良好かについて、
とてもあてはまると回答した割合

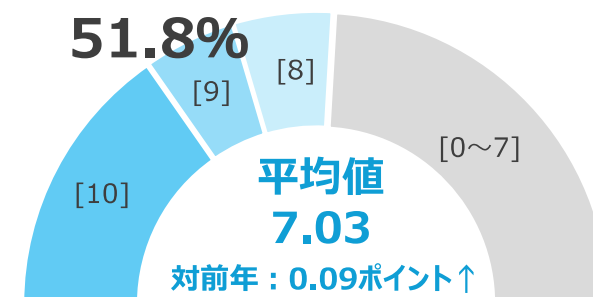
(0-10の11段階のうち8-10の割合)



自己肯定感【子供】

今の自分が好きかについて、
とてもあてはまると回答した割合

(0-10の11段階のうち8-10の割合)

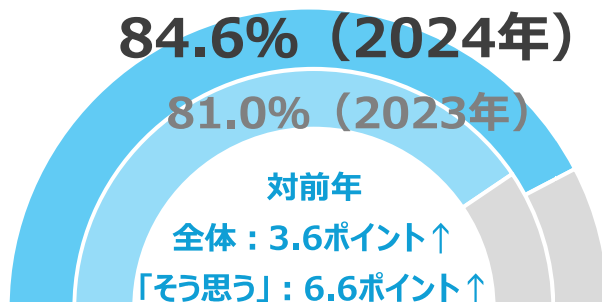


- 2023年調査と比べ、肯定的な評価をしている子供や保護者が増加傾向

大人が話を聞いてくれる【子供】

住んでいる街の大人があなたの話を
きちんと聞いてくれると思うと回答した割合

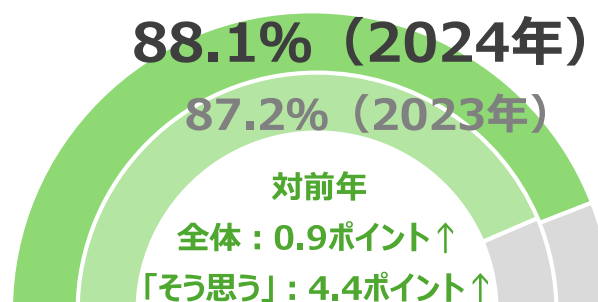
(そう思う+どちらかといえばそう思うの割合)



地域の子育てのしやすさ【保護者】

住んでいる地域が子育てに良い場所
であると思うと回答した割合

(そう思う+どちらかといえばそう思うの割合)



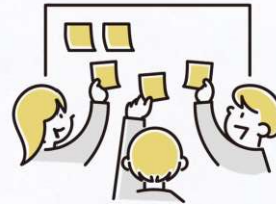
都庁一丸となった子供の意見を聴く主な取組

子供・子育て支援総合計画

福祉局

- ・ 児童館、学童クラブ、児童養護施設等の子供の居場所において、小学生～高校生相当の子供たちを対象にヒアリングを実施
- ・ 計画に関する、子供向けのわかりやすい資料を作成し、パブリックコメントを募集

◆ 子供・子育て支援総合計画の策定等に生かす



東京都スポーツ推進総合計画

生活文化スポーツ局

- ・ 2024年度末に策定予定の次期計画について、より実効性の高い計画とするため、当事者である子供に対して意見聴取を実施

◆ 子供のスポーツ振興に向けて、次期計画における現状課題の認識に活用

◆ 意見聴取の結果を踏まえ、今後の取組の方向性に反映



東京都特別支援教育推進計画

教育庁

- ・ 東京都特別支援教育推進計画（第二期）第三次実施計画（素案）に対するパブリックコメントを実施する際に、あわせて子供からの意見を聴取

◆ 子供たちの意見を計画の策定に生かす



東京都社会的養育推進計画

福祉局

- ・ 新たな計画の策定に向けて、里親、ファミリーホームや施設等に在籍している子供に対してヒアリングやアンケートを実施

◆ 子供たちの意見を計画の策定に生かす

東京都ひとり親家庭自立支援計画

福祉局

- 東京都ひとり親家庭自立支援計画（第5期）策定の参考とするため、ひとり親家庭の子供へのヒアリングを実施

✦ 計画委員会で検討の上、計画の策定に生かす

一時保護条例制定に向けた意見聴取

福祉局

- 一時保護条例制定の参考とするため一時保護所に入所中及び退所した児童に対し、アンケート調査を実施

✦ 子供たちの意見を参考に、条例制定や一時保護所の体制強化に向けた取組等に生かす

高校生いじめ防止協議会

教育庁

- 高校生いじめ防止協議会を実施
- 高校生が、いじめ防止について考え、どのような取組が必要であるかを本音で議論し、提案

✦ 2024年度内に策定予定の、いじめ総合対策（第3次）、いじめ総合対策（子供版）等に反映



今年度の様子

「東京都教育ビジョン（第5次）」（子供版）

教育庁

東京都教育委員会は、2024年3月に、「東京都教育ビジョン（第5次）」を策定した際、都内公立学校の約1万人の子供たちから様々な声を聴き取りました。

こうした子供たちの声が、本ビジョンにどう反映されたかをフィードバックするとともに、子供たちが自分たちの学びや生活について考え、意見表明をする機会を創出するため、子供版の作成を行っています。

東京都は こんな教育をめざします！

ビジョン TOP BACK NEXT

子供たち1万人に聞きました
「学校に、こうあってほしいと思うこと」

一人一人の意見を尊重してほしい

みんなが安心して毎日登校できるような学校であってほしい

お互いの個性を認め合い、受け入れられるような環境があってほしい

子供に、考えを過度に押し付けず、自分で考え、行動していく力を養う場所であってほしい

テストのための勉強ではなく、学生のうちにしか体験できないことや、自分の将来に向けて学べるようなことをしたい

こうした声を踏まえて… 次のページへ

2024年8月公表

子供版のアクセスはこちら！



特定整備路線に関する普及啓発

都市整備局

- 特定整備路線付近の小学校において、特定整備路線に関する出前授業を実施
- 参加した子供たちに、授業内容を踏まえて、「防災」をテーマとしたイラストを描いてもらう

◆ 事業用地や市街地整備事務所のホームページ等に子供たちが作成したイラストを掲載し、事業の普及啓発に活用予定

東京高速道路（KK線）の再生に向けたイベント

都市整備局

- KK線の再生について、イベントの開催など、積極的に情報発信
- 2024年5月に開催したイベントでは、こどもの日に関連し周辺地域の小学生を対象に「こいのぼりアート」の制作ワークショップを実施し展示
- 子供向け遊具を配置し、交流を促す遊び場を提供
- 参加者へのアンケート内で、子供を対象とした項目を設定

◆ アンケートの結果を、今後の情報発信やKK線の再生に向けた取組に生かす



こいのぼりアートワークショップの様子

東京都選定歴史的建造物のバックオフィスツアー

都市整備局

- 東京都選定歴史的建造物となっている旧博物館動物園駅駅舎で、普段は入れない駅舎内の見学会を実施
- 子供たちの見学会への主体的な参加を通して、東京都選定歴史的建造物の保存等に関する理解啓発を促進
- 子供を含む見学会参加者に意見聴取を実施

◆ 参加者からの意見を踏まえ、子供向けコンテンツ（クエスト等）を作成し、ポータルサイトに掲載

◆ 次回以降のバックオフィスツアーの内容検討に生かす



都立公園の整備

建設局

- 都立公園の遊具改修において、周辺の小学校・保育園等の子供たちに設置してほしい遊具等についてアンケート調査を実施

◆ 子供たちの意見を設計内容に反映



都立陵南公園の遊具広場

有明親水海浜公園の整備

港湾局

- 有明親水海浜公園周辺の小学校の在校生に、遊具について意見聴取を実施



- 小学生の意見を踏まえ、選定したユニバーサルデザインに対応した遊具を公園に設置予定



建築物バリアフリー体験学習会

都市整備局

- 都内の小中学生を対象に、建築物のバリアフリー体験会、施設見学会を実施
- 子供たちの体験学習会への主体的な参加を通して、理解啓発を促進
- 体験学習会において、建築物のバリアフリー化に対する子供たちの意見を収集



- 体験学習会で得た意見・気づきや学習会の様子などを都市整備局のホームページに掲載予定



体験学習会の様子

新宿駅再編整備を題材としたまちづくり体験学習

都市整備局

- 新宿駅の歴史や現在進めている新宿グランドターミナル再編の内容を、XR技術等を用いて伝える出前授業や現場見学会、ワークショップを実施
- 子供たちのまちづくりへの興味を高めるとともに、その家族等の大人も含め、幅広く、新宿グランドターミナルの再編整備についての理解・協力を促進



- ワークショップの成果として、工事中の現場仮囲いに掲示する、新宿を彩る作品を制作してもらい、HP・SNS等で発信



ワークショップの様子

地下空間への浸水対策訓練イベント

都市整備局

- 突然の豪雨により地下空間に浸水の危険があることを想定して、小学生の親子が、夏休みのイベントとして参加できる避難訓練を開催
- 参加者に夏休みの自由研究の題材を提供
- イベント参加者に対してアンケートを実施

- ◆ アンケート結果を2025年度に改定を予定している「東京都地下空間浸水対策ガイドライン」に反映



避難訓練の様子

ものづくり教育支援プログラム

産業労働局

- ものづくり教育支援プログラム「小中学生向け工作教室」、「高校生向け実習講座」にて体験終了後、参加者にアンケートを実施

- ◆ 子供たちの意見を次年度以降のプログラム内容の検討に活用

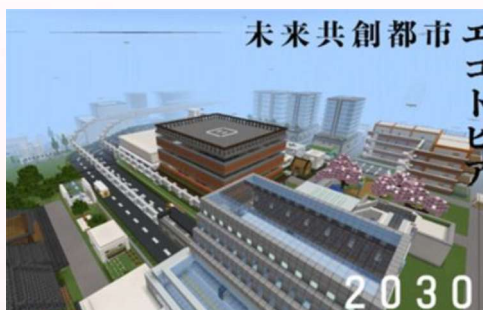


工作教室の様子

東京ベイeSG賞

政策企画局

- 「Minecraft」の作品コンテストと連携し、高校生以下の子供からアイデアを募集。東京ベイeSGプロジェクトが目指す都市像に合致する作品を「東京ベイeSG賞」として表彰



「東京ベイeSG賞」受賞作品
©マインクラフトカップ運営委員会

- ◆ 東京ベイeSGプロジェクトHPにて受賞作品を公開
- ◆ 動画クリエイターとコラボし、受賞作品のワールドを遊ぶ様子を動画化

知事と議論する会

政策企画局

- 子供の笑顔があふれる社会の実現に向け、子供の目線に立った施策を推進するため、子供が意見表明を行い、直接、知事と語り合う機会として実施
- 2024年度は、ゼロエミッション東京の実現について知事と議論

- ◆ 参加した高校生たちの意見を都庁内関係局へフィードバックし、施策の検討に活用



今年度の様子

都民による事業提案制度

財務局

- 満15歳以上の都民（高校1年生相当以上）から提案された事業案を公表し、都民による投票を実施
- 投票により選定された事業案を次年度予算案に反映



SusHi Tech Tokyo2024 ショーケースプログラムにおける未来の東京に関する意見募集

政策企画局

- SusHi Tech Tokyo2024 ショーケースプログラムにおいて、子供をはじめ、来場者から、「2050年の東京」などをテーマにメッセージを収集



- ◆ 寄せられた意見を東京都の新たな戦略「2050東京戦略（案）」の策定や「東京ベイeSGプロジェクト」Version2.0（案）の策定に活用
- ◆ 日本科学未来館に設置している、子供をはじめとする来場者が最先端技術を体験し未来を創造する拠点（Tokyo Mirai Park）にて、寄せられた意見を体験・展示やワークショップに活用
- ◆ 現在、Tokyo Mirai Parkにおいては、来場者が東京の未来に関するアイデアを書き込んでいく「東京の未来年表」を実施。寄せられたアイデアはプロジェクトの展開に反映



東京都こどもホームページ・中高生Webサイト(仮称)

東京都こどもホームページ

- ✓ 子供たちが、東京に魅力を感じ、都政に興味・関心を持つことができる情報プラットフォームとして、子供たちの声を基に継続的にホームページの内容を充実
- ✓ 子供たちの声を聴きながら作成した「東京こどもタイピングレース」の大ヒットや、公立小学校における一人1台端末との接続により、月間1,400万PV（2024年12月）、累計7,000万PVを突破（2025年1月）



ホームページのアクセスは
こちらから！

2022年4月
ホームページ公開（ベータ版）

2022年7月 本格稼働

2021年度～

小学校で出前授業、ワークショップ開催、アンケート実施

「東京の魅力」や「東京都の仕事」の掲載内容について投票で決定 等

ベータ版アンケート実施

画面遷移の改善、新規コンテンツ「東京なるほど白書」追加

ワークショップ開催

取り組んだ内容を「東京の魅力」発信に
係るコンテンツに反映

2023年度

ワークショップ開催、コンテンツアンケート実施

タイピングレースを新規追加、バーチャル社会科見学施設追加 等

2024年度

ワークショップ開催、
コンテンツアンケート実施

子供たちが企画・審査するフォトコンテスト開催
「とどけよう！未来につながるみんなの声」ページ新設

東京こどもタイピングレース

東京にまつわるワードを
タイピングしながら学ぶコンテンツ



今後のアクション

- ◆ 東京都こどもホームページの**一人1台端末との接続を都内全域へ展開**
- ◆ **子供の意見**を基に**ホームページを作成・アップデート**する方式を継承し、**中高生にとっての「都政への玄関口」となるホームページ「中高生Webサイト（仮称）」**を制作
 - ➡ 小学生から中高生まで、**全ての子供と直接つながるデジタル接点**を創出

①東京都こどもホームページ 内容の充実と利用機会の増加 拡

- ◆ ワークショップやアンケート等により、**子供の意見**や教育現場の意見を継続的に取り入れながら、**コンテンツをアップデート**
- ◆ 東京都こどもホームページが多くの子供たちの目に触れるよう、公立小学校における**一人1台端末との接続を加速**するなど、**区市町村と連携し、活用を促進**



ワークショップの様子



出前授業の様子
(清瀬市立清瀬第六小学校)

②中高生Webサイト（仮称）の構築 新

- ◆ **ユーザー目線を徹底して、中高生と一緒にサイトを構築**（2026年3月～ 本格稼働）
- ◆ **一人1台端末と接続し、「都政への玄関口」としての機能を最大化**
- ◆ Webサイト稼働後も、継続的に**中高生の意見**を聴きながら、**日常的に利用したくなる魅力的なコンテンツ**を制作

中高生向けのWebサイトのコンセプト

学び

AIを活用した学習



つながり

都政の情報や
相談窓口とつながる



情報発信

中高生目線で
自ら情報を発信



子供一人ひとりに寄り添い、可能性を広げるDXの推進

東京都では、「東京都こどもホームページ」などを一層充実させ、**子供と直接つながるデジタル接点**の創出に取り組んでいます。



< 東京都こどもホームページ > 小学生にとっての「都政への玄関口」

東京に魅力や愛着を感じ、
都政に興味・関心を持つことができる
情報プラットフォーム

- ✓ 継続的に**子供の声**を聴きながら、
内容を**アップデート**

▶ **中高生向けに、「中高生Webサイト（仮称）」も開設予定**

全ての子供たちと直接つながる
「デジタル接点」を創出



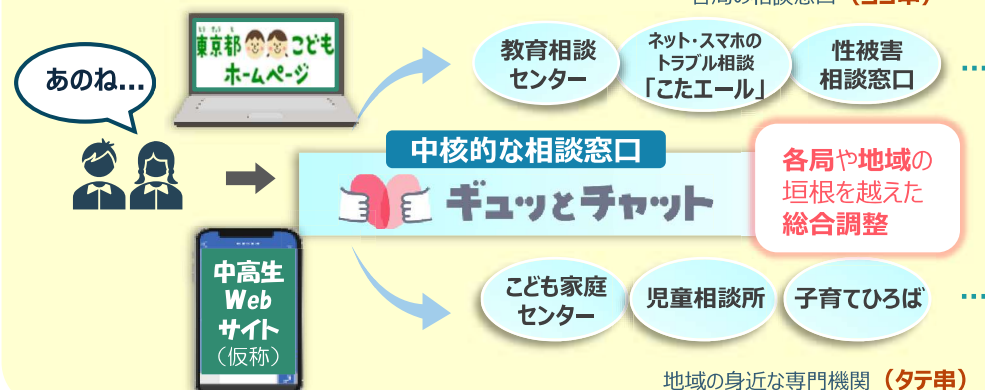
取組例 1 子供たちの学びや成長をデジタルでサポート

子供たちの「**もっと知りたい**」という知的好奇心を
満たすコンテンツの充実など



取組例 2 子供たちの不安や悩みに寄り添う

日々の**悩みや不安**を「**あのね...**」という感覚で**気軽に相談**でき、
身近な専門機関や窓口へつながれる環境の構築



子供や子育て世帯を社会全体で応援する「こどもDX」を国・区市町村・関係団体とともに推進

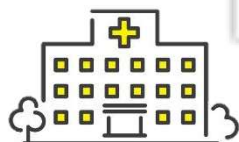
チルドレンファーストの社会を実現するため、デジタル分野においても、組織や行政の垣根を越えて
便利で快適な子育て支援サービスを実現していきます。

◆ 2025年度までに実現する 4つのプロジェクト 詳細：P.178



I プッシュ型子育てサービス（子育て支援制度レジストリ）

アプリから必要な情報が先回りで届き、知りそびれや申請忘れをなくす取組を推進



II 母子保健オンラインサービス（PMH）

デジタル庁が開発した基盤を活用し、マイナンバーカード一つで医療費助成や予防接種を可能に



III 保活ワンストップ

保育園探しから入園までの手続きがオンラインで完結するワンストップシステムを実現



IV 給付金手続きの利便性UP

マイナンバーカードでスマホから申請できる仕組みを導入し、ワンストップの徹底や簡単便利で爆速の手続きを実現

東京都こども基本条例の普及啓発

全ての子供が誰一人取り残されことなく、あらゆる場面で社会の一員として尊重され、健やかに育つ環境を整備するため、子供をはじめ、全ての都民に条例の基本理念を普及啓発

政策強化の方向 国内外の多様な主体との連携を通じて、条例理念の発信や意見交換等を行う場を創出

2025年度

中高生海外派遣 2026年3月渡航予定

海外の子供政策先進都市を訪問し、条例の理念を自らの言葉で主体的に発信

“Tokyo Global Forum on Children”

第2回 東京こども政策国際会議 2026年2月開催予定

海外都市から実務責任者を招聘し、子供政策の課題を共有・議論

ポスターコンクール 2025年夏頃募集予定

小学生を対象に条例の理念を普及啓発するポスターコンクールを開催

こどもシンポジウム

TEENS SQUARE 2025年8月開催予定

東京の子供と海外都市の子供が一堂に会し、交流・意見交換

コンテンツを活用した広報

通年

各普及啓発コンテンツをSNS等で戦略的に発信

出張型条例ワークショップ・出前講座

通年

条例ハンドブックや解説動画を活用した、ワークショップ等を実施

～2024年度まで

中高生海外派遣

2023年度アイルランド、2024年度ベルギーへ渡航

TEENS SQUARE

国内3都市を招待し、2024年10月に初開催

第1回 東京こども政策国際会議

「子供の声を中心に据えた都市の取組」をテーマに、2025年2月に初開催

大人への条例理解促進

コンテンツを活用した出前講座等を実施

ポスターコンクール

「こどもにやさしい東京」をテーマに、2024年度に初開催

条例ハンドブック、解説動画

子供たち自身が主体的に関わって制作



今後のアクション

出張型条例ワークショップ

(子供政策連携室)

新

- 学校等を訪問し、普及啓発コンテンツ（ハンドブック・解説動画）を活用した条例ワークショップを草の根的に展開



(2024年度職員による出前授業の様子)



子供が主体となったポスターコンクール事業

(子供政策連携室)

- デジタル広告が届きにくい小学生を対象に実施
- 条例理念を取り入れたテーマ選定から最優秀作品の決定まで、子供が主体的に参加する機会を創出



(2024年度 最優秀作品)

子供たちと日常的に接する大人への普及啓発

(子供政策連携室)

- 子供と日常的に接する教員、保育士、民生委員等に対し、普及啓発コンテンツを活用した研修や出前講座を実施



(2024年度職員による出前講座の様子)



普及啓発コンテンツを活用した広報

(子供政策連携室)

- 条例のさらなる理解促進のため、対象世代ごとに訴求力のある媒体を活用した戦略的なSNS広報を展開
- 小学生を主な対象とし、楽しみながら学ぶことができるWebコンテンツを制作



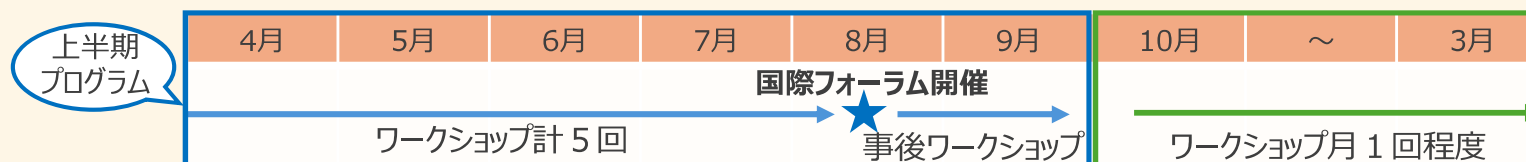


こどもシンポジウム “TEENS SQUARE” (子供政策連携室)

- 国内外の子供政策先進都市等の子供と都内の子供が一堂に会し、各都市における子供参画の取組等について意見交換等を実施
- 都内の子供たちが国内外の子供政策に関する先進事例に触れる機会を創出するとともに、子供たちが自らの言葉で条例の理念を発信

2025年度からの展開

- 来年度上半期のプログラムでは、今年度のシンポジウム成功を足掛かりに、**海外都市の子供たちへ交流の輪を広げていく**
- 来年度下半期からは、**1年間じっくりと「こども基本条例」の理念を学ぶ新たなプログラムがスタート**



2024年度

こどもシンポジウム 2024年10月13日（日）@国立オリンピック記念青少年総合センター

- 今年度初開催となるシンポジウムには、**東京都・札幌市・千葉市・富谷市**から36名の子供たちが参加
- 「**わたしが考える『こどもにやさしいまち』**」をテーマに各都市からの発表・意見交換や都市混合ワークショップを実施



(子供たちによる発表)



(子供同士の質疑応答・意見交換)



(都市混合でのワークショップ)



シンポジウム当日の様子を動画でCheck！⇒

東京こども政策国際会議（Tokyo Global Forum on Children :TGFC）（子供政策連携室）

- 海外の子供政策の先進都市等から実務責任者を招聘し、**子供政策の課題や経験、解決のための方策を共有、議論するとともに、都市間ネットワークを構築**することで、**都における子供政策の質向上**を図る。
- 国際会議開催を通じて、**都の子供政策を世界に発信し、国際社会におけるプレゼンスを高める。**

2025年度からの展開

- 子供政策に関する時宜にかなったテーマを選定し、**テーマに沿った子供政策先進都市等を招聘して実施**
- 中高生海外派遣やTEENS SQUAREを経験した**子供達に、自ら学んだことを発表**してもらうなど、**活躍の機会を提供**

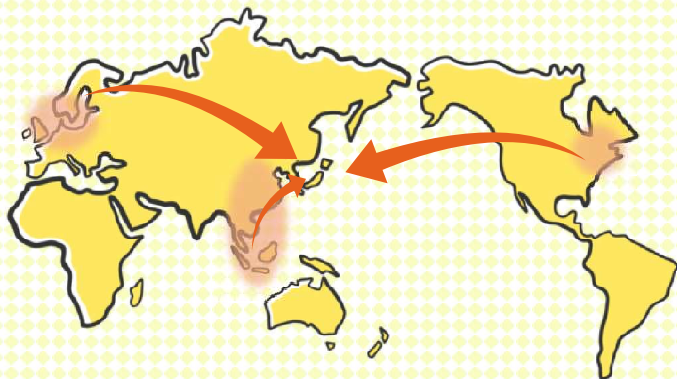
2024年度

第1回 東京こども政策国際会議（Tokyo Global Forum on Children）

【日程】 令和7年2月5日（水）～2月7日（金）

【場所】 都庁、都内ホテル、都内子供関連施設 等

【海外都市等】 子供政策先進都市など（10～15都市）



プログラム

2月5日
（水）

基調講演 セッション

①「子供の声を聴く取組・子供の参画」

2月6日
（木）

基調講演 セッション

①「子供の声を聴く取組・子供の参画」
②「子供の声を聴いた遊び場づくり・遊びの機会づくり」

2月7日
（金）

**都内視察（子供関連施設など）
東京の子供からのプレゼン**

条例の理念及び子供政策理解促進のための中高生海外派遣（子供政策連携室）

- 子供政策先進都市を子供たちが訪問し、視察及び意見交換を行うことにより、条例の理念及び子供政策の理解を深める。
- 子供政策先進都市と東京の子供たちが交流することにより、海外都市との連携や国際的なネットワークの構築につなげていく。

2024年度

#つながる世界の10代 ワールドキャンパス in ベルギー



参加者募集

ワークショップ（5回）

- ① 東京都こども基本条例への理解
- ② 子どもの権利への理解
- ③ ベルギーの事前学習
- ④ 現地での発表準備 など

現地での交流等

- ＜視察例＞
- ・住民や子供の声を聴いて作った公園
 - ・子供がメディア制作に取り組む団体
- ＜交流例＞
- 中等教育学校生徒会連合会や、現地学生、日本語を学ぶ学生たちとの交流・発表

帰国後の振り返り

活動を通しての気づき
や学びを振り返り・報告

発信！



参加メンバー

渡航概要

- 時 期 : 2025年3月26日（水）～30日（日）
- 参加者 : 都内在住・在学の中高生 10名
（参加者は、書類選考、面接を経て決定）
- 関係機関 : 駐日ベルギー大使館や現地の日本大使館、ブリュッセル市などの子供政策を所管する行政機関等と綿密な事前調整を実施

他都市との交流事業の連携によるシナジー効果を強化

各事業の取組を通じて、国内外で東京都子ども基本条例の理念の普及啓発と都の子供政策の成果を発信するとともに、**3つの事業が有機的に連携することにより、事業の相乗効果を生み出していきます。**

中高生海外派遣

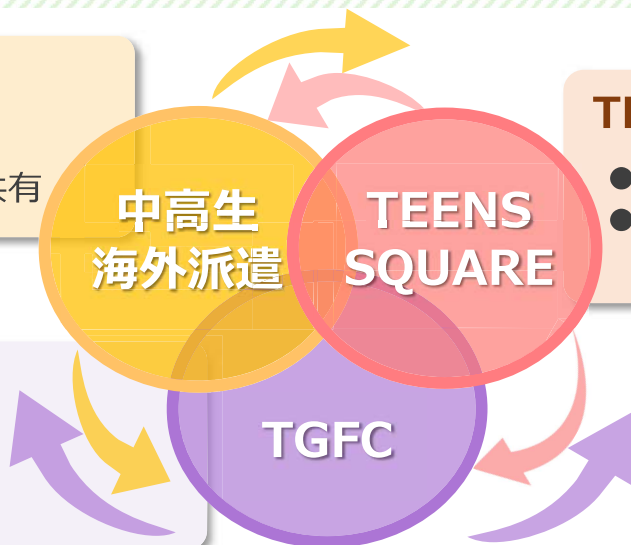
- 子供たち自らが学んだことをTGFCで発表
- 派遣を通じて得た知見をTEENS SQUAREで共有

TEENS SQUARE

- 子供たち自らが学んだことをTGFCで発表
- TEENS SQUAREでの経験を中高生海外派遣で共有

東京子ども政策国際会議(TGFC)

- 都市とのネットワークをTEENS SQUAREや中高生海外派遣に活用



継続的に子供たちが参画できる仕組みを構築

東京都子ども基本条例アンバサダー



- 【対象】 中高生海外派遣・TEENS SQUAREの参加者
 【役割】 事業での経験や条例理念の発信

- 事業への参加後1年間、**伝道師として活動の場を提供**
- 条例理念等を発信・発表し、広く**同世代への普及啓発**を図る

アルムナイネットワーク*

* 卒業生のつながり、同窓会



- 【対象】 東京都子ども基本条例アンバサダーとして活動した者
 【役割】 事業の卒業生の継続的なつながりを構築

- 条例について深く学んだ子供たちが、**継続的に都の様々な取組に参画**
- アルムナイメンバーが増えていくことで、**条例の理念が一層浸透**

こども未来会議

「子供が笑顔で子育てが楽しいと思える社会」の実現に向けて、従来の枠組みに捉われない幅広い視点で、先進的な子供政策の方向性を議論・発信



こども未来会議における議論

✓ 「子供の笑顔」の視点から議論

✓ 海外等の先進事例を踏まえ、エビデンスに基づいた議論

✓ 福祉・教育等、従来の枠組みに捉われない議論

✓ 「子供との対話」を通じた子供の目線に立った議論

こども未来会議での議論を都の子供政策に反映し、バージョンアップ

こども未来会議の委員

子供政策の研究者やミレニアル・Z世代の有識者等が参画

座長



秋田 喜代美さん



池本 美香さん



大谷 美紀子さん



古坂大魔王さん



田中 れいかさん



松田 恵示さん



山本 晃史さん

秋田 喜代美	学習院大学文学部教授、東京大学名誉教授
池本 美香	株式会社日本総合研究所 調査部 上席主任研究員
大谷 美紀子	国連子どもの権利委員会 委員、弁護士
古坂大魔王	芸人・プロデューサー
田中 れいか	一般社団法人たすけあい 代表理事
松田 恵示	東京学芸大学 理事・副学長
山本 晃史	認定特定非営利活動法人カタリバ 文京区青少年プラザb-lab館長

(2025年1月現在、五十音順、敬称略)

第1回 2020.9.23	子供が笑顔で子育てが楽しいと思える社会の実現に向けて ～新型コロナウイルスがもたらした変化と課題を踏まえて～	第8回 2023.3.27	「こどもにやさしい東京」の実現に向けた取組と発信 ～「東京都こども基本条例」ハンドブックの編集を通じて～
第2回 2020.12.18	世界の少子化対策・子供子育て支援 ～エビデンスに基づいた少子化対策・「子供の笑顔」につながる子供 子育て支援のあり方～	第9回 2023.6.26	ありのままの多様な子供を育む学び・居場所のあり方
第3回 2021.2.12	子供を育む環境・まちづくり ～子供の目線に立った居場所・遊び場～	第10回 2023.12.25	東京の子供政策に対する国際的視点からの期待
第4回 2021.5.26	子供一人ひとりの「伸びる・育つ」を育む ～子供一人ひとりに着目した学び・非認知能力を育む教育～	第11回 2024.2.4	東京都こども基本条例の普及啓発に向けた子供との対話 ～条例解説動画の制作を通じて～
第5回 2021.11.17	「子供を大切にする」社会に向けた気運醸成 ～生命科学的視点からの子育てのあり方について・子供、子育てに 寛容な社会の実現に向けて～	第12回 2024.5.29	アイルランドで私たちが学んだこと
第6回 2022.6.28	東京都の子供政策の総合的推進について ～子供政策連携室が果たすべき役割～	第13回 2024.12.20	学校の居心地と生徒のメンタルヘルスとの関係
第7回 2022.11.24	政策分野の垣根を超えた発想での新しい子供政策 ～「福祉」「教育」などの従来の枠組みを超えて～		

政策・施策への反映状況

こども未来会議での議論が政策や施策に反映され、具体的な取組として実践

「遊び」の推進 (P.105)



こどもスマイルムーブメント
(P.186)

すくわくプログラム (P.62)



東京都こどもホームページ
(P.46)

フリースクール等支援 (P.83)



東京こども政策国際会議
(P.53)

学校の居心地向上 (P.91)



こども未来会議における子供との対話 ～ 10名の中高生による発表と対話～

会議のダイジェストは
こちらから！



第12回会議：2024年5月29日実施「アイルランドで私たちが学んだこと」

「ワールドキャンパス in アイルランド #つながる世界の10代」で2024年3月にアイルランドを訪問した10名の訪問団が、訪問を通して学んだことや感じたことについて発表し、知事や委員と対話しました。



アイルランド訪問の概要

- ・アイルランドは多様な方法で子供の声を取り入れ子供の参画に取り組んでいる国
- ・首都のダブリンに加え第2の都市コークも訪問
- ・現地の子供たちと交流する機会が数多くあった

学んだこと・感じたこと

- ・子供の居場所の定義の違いに驚いた
- ・東京にも社会のことについて定期的に話せる場所があったら良い
- ・東京も子供の意見や考えを実現することができるまちを目指していきたい

※ 実際の発言に基づいて記載

委員から訪問団へのメッセージ

- ・アイルランドの子供の居場所について大変勉強になりました。
- ・こうした対話での話が具現化されていくということが今後進んでいくと良いですね。
- ・今回のアイルランドの経験をぜひ周りの皆さんにもシェアして視野を広げてください。



知事から訪問団へのメッセージ

皆さんの思いや声をしっかりと受け止め、都の施策に生かしていきたいと思います。



訪問団と対話する知事と委員